

## ロニ・ホーン:水の中にあなたを見るとき、 あなたの中に水を感じる?

Roni Horn: When You See Your Reflection in Water, Do You Recognize the Water in You?

2021年9月18日(土)～ 2022年3月30日(水)

ポーラ美術館は、アメリカの現代美術を代表する女性アーティスト、ロニ・ホーンの個展を開催します。本展は、国内の美術館におけるホーンの初個展となります。

テムズ川の水面やアイスランドの温泉、島の地図、水鏡を思わせるガラスなど、ロニ・ホーンの数々の作品は、自然と密接に結びつきながら、極めてシンプルに削ぎ落とされた形式で展開されています。作品は、写真、彫刻、ドローイング、本など多岐にわたりますが、一つの概念が多様な作品へと形を変えて現れる様子は、環境や周囲との関わりによって姿を変える、「水」の性質を想起させます。東洋思想においては人間の精神のあり方や無常を表す水や川はまた、展覧会のタイトルにもある通り、ホーンがしばしば作品のモチーフやテーマとして用いるものです。

本展では、近年の代表作であるガラスの彫刻作品をはじめ、1980年代から今日に至るまでの約40年間にあつた実践の数々を紹介しながら、水のようにしなやかに多様な解釈を受け入れる彼女の作品のあり方を探ります。価値観や「正しさ」がめまぐるしく入れ替わるこの時代において、周囲に惑わされず、川のように静かに絶えず本質を見つめながら制作を続ける彼女の作品と姿勢は、私たちに強く生きるヒントと、Reflection(内省)の時間を与えてくれるでしょう。



《ウェル・アンド・トゥンネリー》2009-2010年 10点組、鑄造のガラス 個人蔵  
展示風景:「ウェル・アンド・トゥンネリー」プレゲンツ美術館(オーストリア)2010年 Photo: Stefan Altenburger © Roni Horn

### 報道に関するお問合せ

ポーラ美術館 広報担当: 田中、稲見 TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局: 屋木、名取 TEL: 03-4570-3172 / FAX: 03-4580-9128 E-MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp

## 1. アメリカの現代美術を代表するアーティスト、国内初の大規模個展

2009-2010年にテート・モダン(ロンドン)とホイットニー美術館(ニューヨーク)で大規模な展覧会を開催して注目を集め、その後も現代美術の最前線で活躍し続けるアーティスト、ロニ・ホーンを、国内の美術館としては初めて紹介する展覧会です。また2002年の開館以来、ポーラ美術館における大型企画展としては初めて、同時代の作家を単独で取り上げる機会となります。

## 2. 写真やドローイング、ガラス彫刻作品など、約40年間におよぶ作家の多様な軌跡を辿る

本展では、1970年代の初期の作品から、代表作である写真シリーズ《あなたは天気 パート2》(2010-2011年)のほか、モチーフの繰り返しによって徐々に変化してゆくドローイング作品など、様々な作品を通じて「連続と差異」という彼女の一貫した問題意識を浮き彫りにします。また、高さ約3メートルの大型の平面作品、近年の代表作であるガラスを用いた立体作品9点など、ロニ・ホーンの豊かな制作をダイナミックに辿ります。

## 3. 箱根の自然のなかで、ロニ・ホーン作品に出会う

ロニ・ホーンは初期から一貫して「自然」をモチーフに作品を制作しています。特に彼女が偏愛するアイスランドの、火山と氷河が生み出した荒々しい風土からは、ことさら強いインスピレーションを受けていますが、火山列島である日本、古来の温泉地である箱根は、アイスランドと多くの共通点を有しているでしょう。本展では、仙石原の豊かな森を望む展示室に加えて、美術館屋外の森の遊歩道にも大きなガラス彫刻作品を展示します。

## 4. BEAMS DESIGNプロデュースによる、展覧会オリジナルグッズ

本展限定の展覧会オリジナルグッズをBEAMS DESIGNがプロデュース。ロニ・ホーン作品の世界観をとり入れたオリジナルTシャツ、トートバッグ、マグカップなど、この機会にしか手に入らない限定グッズを多数展開予定です。9月18日(予定)より、ポーラ美術館ミュージアムショップと、美術館公式オンラインショップにて販売いたします。

### 報道に関するお問合せ

ポーラ美術館 広報担当: 田中、稲見 TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局: 屋木、名取 TEL: 03-4570-3172 / FAX: 03-4580-9128 E-MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp

## 主な展示作品

### 「ガラス彫刻」シリーズ Glass Sculptures

物理学的には「固体」でも「液体」でもないガラスの曖昧さは、ホーン作品の両義性、多義性を象徴するものでしょう。水を湛えた器のように見えるこの作品は、実は数百キロものガラスの塊です。気の遠くなるような時間をかけて、ガラスがゆっくりと铸造される過程は、透き通った水が器に静かに満ちてゆく様を思わせると同時に、溢れ出る灼熱のマグマが流れて固まり、地面を形成したアイスランドの大地や地層をも想起させます。窓のある開放的な展示室と、屋外の森に設置される計9つのガラス彫刻は、周囲を映し出しながら、また巨大なレンズとして光を拡散しながら、静と動、穏やかさと荒々しさ、表層と深淵、透明感と重量感といった、相反する性質を内包しています。



《無題 ("... In all the dwellings, on the earthen floors, on mats, on bunks, lay silent, inert people. Their faces were bathed in sweat. The village was like a submarine at the bottom of the ocean: it was there, but it emitted no signals, soundless, motionless.")》

2018-2020年

鑄放しの鑄造ガラス

Courtesy of the artist and Hauser & Wirth

Photo: Ron Amstutz

© Roni Horn

### 《または 6》 Or 6

ドローイングは、ホーンにとってもっとも身近な表現手段です。「日々呼吸するように」実践されるドローイングは、1982年から今日まで一定して継続される唯一の形式です。抽象的な線や形、あるいは引用された言葉などモチーフは様々ですが、それは手の運動であるとともに、彼女の思考や記憶と強く結びついています。本展の一室を占める7点の巨大なドローイング作品は、高さ約3メートルにおよびます。スケールに圧倒されながら細部に目を凝らすと、手書きの記号や印、紙の切れ目によって、それが一度ばらばらに切断され、繊細な手作業によって再び組み合わされたものであることが分かります。



《または 6》

2013-2014年

粉状の顔料、黒鉛、黒炭、色鉛筆、ワニス／紙

グレンストーン美術館

展示風景：「ロニ・ホーン」パイエラー財団

(リーエン、スイス) 2016-2017年

Photo: Stefan Altenburger

© Roni Horn

### 報道に関するお問合せ

ポーラ美術館 広報担当: 田中、稲見 TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

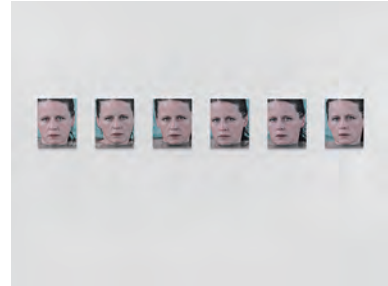
ポーラ美術館 広報事務局: 屋木、名取 TEL: 03-4570-3172 / FAX: 03-4580-9128 E-MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp

## 主な展示作品

OF  
ART

### 《あなたは天気 パート2》 *You are the Weather, Part 2*

10代の頃、父親からペトリのカメラを与えられて以来、写真はホーンにとって重要なメディアです。真っ直ぐな視線を投げかける100枚ものポートレートが、展示室の四方を取り囲むこの大作は、アイスランドの温泉で、6週間にわたって女性の表情を記録し続けたものです。「曇った顔」「気が晴れる」「霞を食う」「称賛の雨」など、私たちは人間のあり方や経験を気象に見立てています。時に激しく時に穏やかに、天気のように移り変わる、一人の女性が見せる唯一無二の100の表情を追いながら、同じように見えるものの中にこそ、絶え間ない変化が潜むことに私たちは気付くのです。



《あなたは天気 パート2》(部分)  
2010-2011年  
66点のカラー印刷、34点の白黒印刷  
Courtesy of the artist and Hauser & Wirth  
© Roni Horn

### 《エミリのブーケ》 *Bouquet of Emily*

言語や文学はホーンを形づくる重要な要素であり、作品にも多くのテキストが引用されます。ポー、ソロー、ヴァレリー、リルケ、カフカ、オコナー、など、引用元は実に豊富ですが、中でもアメリカを代表する詩人、エミリー・ディキンソンは作家にとって特別な位置を占めています。《エミリのブーケ》は、ディキンソンが書いた手紙の言葉の中から選ばれたシリーズです。しかしながら、引用された言葉は側面から見ると言語の体をなさず、文字は純粋な「形」として解体されています。このような「形」の自己反復は、活動の初期にドナルド・ジャッドらを通じてミニマリズムの影響を受けたホーンの背景を窺わせるものです。



《エミリのブーケ》(部分)  
2006-2007年  
6本組、固形アルミニウム、  
铸造した白いプラスチック  
Courtesy of the artist and Hauser & Wirth  
© Roni Horn

OF  
ART

### 報道に関するお問合せ

ポーラ美術館 広報担当: 田中、稲見 TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局: 屋木、名取 TEL: 03-4570-3172 / FAX: 03-4580-9128 E-MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp

POLA MUSEUM



Photo: Mario Sorrenti

## ロニ・ホーン/Roni Horn

1955年生まれ、ニューヨーク在住。写真、彫刻、ドローイング、本など多様なメディアでコンセプチュアルな作品を制作。1975年から今日まで継続して、人里離れた辺境の風景を求めてアイスランド中をくまなく旅してきた。この中で経験した「孤独」は、彼女の人生と作品に大きな影響を与えている。

近年の主な個展は、ポンピドゥー・センター（パリ、2003年）、テート・モダン（ロンドン、2009年）、ホイットニー美術館（ニューヨーク、2009-2010年）、バイエラー財団（リーエン、スイス、2016年、2020年）、グレンストーン美術館（ポトマック、アメリカ、2021年）などで開催。

## ロニ・ホーン：水の中にあなたを見るとき、あなたの中に水を感じる？

Roni Horn: When You See Your Reflection in Water, Do You Recognize the Water in You?

- 会 期 : 2021年9月18日(土)～ 2022年3月30日(水) 会期中無休  
会 場 : ポーラ美術館 展示室1, 2 遊歩道  
主 催 : 公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館  
後 援 : アメリカ大使館  
協 力 : Hauser & Wirth/ヤマト運輸株式会社

### 報道に関するお問合せ

ポーラ美術館 広報担当: 田中、稲見 TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局: 屋木、名取 TEL: 03-4570-3172 / FAX: 03-4580-9128 E-MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp